

# ラグビーW杯 盛り上げたい

静産大、静岡理工科大

## 女子目線で動画やメニュー



①作成した動画を紹介する静産大の学生 ②地元の飲食店と創作したラグビーを応援するメニューをPRする静岡理工科大の学生=いずれも袋井市で



二〇一九年ラグビーワールドカップ(W杯)の機運を高めるため、静岡産業大(磐田市)と静岡理工科大(袋井市)の学生が一七年度に行った活動の「ラグビー発表会」が六日、袋井市のエコパスタジアムであった。県西部支援局の呼び掛けで、女性目線を中心にラグビーの魅力発信する取り組み。静岡産業大ゼミ生は、トップリーグ・ヤマハ発動機の選手へのインタビューや、学生が実際にラグビーを体験する様子を四十秒ほどの動画にまとめた。静岡理工科大の女子学生グループは、JR愛野駅周辺の七つの飲食店

と共にラグビーを応援するメニューを創作した。発表会で、動画を上映した静岡大の神木智世さん(三三)は「最初はラグビーのルールも知らなかったが、選手に質問したり体験したりして魅力や楽しさを知ることができた」と感想を話した。静岡理工科大の岡部クミさん(二八)は、ラグビーボールをイメージして作ったハンバーガーとP.R.した。今春を自途に各店で提供を始めていく予定という。動画やメニューに関する問い合わせは、県西部支援局☎電0538(37)2202。(高柳義久)